

豊かな自然、歴史ある寺社や街並み、国際空港など、多様な景色・眺め(景観)が楽しめる成田市。市では「成田らしさを感じられ、良好な景観を望める場所」を市民共有の宝物として保全・活用しようと、「なりた景観資産」として登録しています。ここでは、市民の皆さんから推薦され登録された、景観資産の数々を紹介します。



高台にある境内から望む印旛沼

社殿へと向かう登山口

## 「浅間神社から眺める印旛沼」

下方の浅間神社は、麻賀多神社の西約1キロメートルの高台に位置しています。もともと石宮でしたが、昭和54年に現在の社殿が建てられました。「浅間神社登山口」と書かれた石柱が立つ鳥居をくぐると、待っているのは石畳の細長い急な階段。周りは木々が生き茂り、とても風情があります。

また、社殿を取り囲むように大きな樹木がそびえ立つ境内では、木々の間から印旛沼を望むことができます。印旛沼周辺では、その昔、霞ヶ浦から続く広大な入り海が広がっていました。かつての姿を思わせる印旛沼が田園風景に広がるさまなど、良好な景観を眺めることができます。



所在地 下方199番地  
市役所よりコミュニティバス(北須賀ルート)「下方宿」下車・徒歩5分。または「台方」下車・徒歩6分。

市では、なりた景観資産にふさわしい場所を募集しています。誰もが安全に立ち入ることができ、素晴らしい景観を望める場所がありましたら、ぜひ推薦してください。くわしくは都市計画課(☎20-1560)へ。

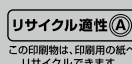
### 編集後記

2月は暦の上ではもう春です。ひと足先に春の訪れを告げるのが梅の花。「東風吹かば 匂ひおこせよ 梅の花 あるじなしとて 春な忘れそ」この句を詠んだのは学問の神様・菅原道真公です。梅の花が咲くこの時期は受験シーズンでもあり、わが家の子どもは来年受験を控え、必死に勉強していますが成績は上がらず、神頼み。受験生の皆さん、まだまだ寒い日が続きますが、体調を崩さずに乗り切ってください。春はもうすぐです。

平成29年2月15日号 No.1333

成田市のホームページ

<http://www.city.narita.chiba.jp>



広報なりたは、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす用紙、誰にでも読みやすいUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています。